

代表質問発言通告要旨

<令和6年度施政方針並びに予算案に対する代表質問>

(令和6年三島市議会2月定例会)

発言 順位	発 言 要 旨	発 言 者	備考
1	1 基本目標1「安全・安心に暮らせるまち」に関して・・・防災、ごみ処理	改革みしま代表 古長谷 稔	
	2 基本目標2「健康で福祉が充実したまち」に関して・・・高齢者福祉、子育て支援		
	3 基本目標3「未来につなぐ人材を育むまち」に関して・・・教育		
	4 基本目標4「交流とにぎわいのあるまち」に関して・・・まちづくりビジョン、産業振興		
	5 基本目標5「快適で暮らしやすいまち」に関して・・・移住、三島駅周辺整備、空き家		
	6 基本目標6「共に創る持続的に発展するまち」に関して・・・新庁舎、スマート市役所		
	7 財政について		
2	1 過去最大規模となった財政について	緑水会代表 野村 諒 子	2月26日 (月)
	2 激甚災害を想定した取り組みについて		
	3 少子化の進む現状に対応した子どもの健全育成		
	4 観光交流人口の増加への取り組み		
	5 働く人に選ばれるまちへの取り組み		
3	1 持続的な発展を見据えた行財政経営について	新未来21代表 宮下 知 朗	
	2 激甚化・頻発化する自然災害への対応能力向上について		
	3 誰もが安全・安心に暮らすことのできる地域社会の構築について		
	4 誰もがいつまでも元気に暮らすことのできる健幸都市の実現に向けて		
	5 人口減少を緩やかに保つ若い世代を呼び込む政策の推進について		
	6 未来を担う子どもたちの健全育成について		
4	1 安全・安心に暮らせるまち 日本一幸せに暮らせる都市を目指す積極型予算	公明代表 堀江 和 雄	
	2 健康で福祉が充実したまち		
	3 未来につなぐ人材を育むまち		
	4 交流とにぎわいのあるまち		
	5 快適で暮らしやすいまち		
	6 共に創る持続的に発展するまち		
5	1 持続可能な財政運営について	新風会代表 石井 真 人	
	2 基本目標1 安全・安心に暮らせるまち		
	3 基本目標2 健康で福祉が充実したまち		
	4 基本目標3 未来につなぐ人材を育むまち		
	5 基本目標4 交流とにぎわいのあるまち		
	6 基本目標5 快適で暮らしやすいまち		
	7 基本目標6 共に創る持続的に発展するまち		
6	1 【重点プロジェクト】について	維新と無所属の会代表 弓場 重 明	2月27日 (火)
	2 【基本目標1 安全・安心に暮らせるまち】について		
	3 【基本目標2 健康で福祉が充実したまち】について		
	4 【基本目標3 未来につなぐ人材を育むまち】について		
	5 【基本目標4 交流とにぎわいのあるまち】について		
	6 【基本目標5 快適で暮らしやすいまち】について		
	7 【基本目標6 共に創る持続的に発展するまち】について		
7	1 基本目標1 安全・安心に暮らせるまち	日本共産党議員団代表 服部 正 平	
	2 基本目標2 健康で福祉が充実したまち		
	3 基本目標3 未来につなぐ人材を育むまち		
	4 基本目標4 交流とにぎわいのあるまち		
	5 基本目標5 快適で暮らしやすいまち		
	6 基本目標6 共に創る持続的に発展するまち		

代表質問発言通告書

発言順位	1番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 6年 2月 15日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 11番 古長谷 稔

質問事項及び具体的内容 豊岡市長が市政を担って13年が経過した。この間に三島市でも人口減少、少子高齢化が進行した。生産年齢人口の減少等により人手不足が顕在化し、国全体で賃金が上がらない中で、ウクライナ紛争など国際的緊迫状況の影響による物価上昇から、多くの市民は生活が厳しいと感じている。コロナ禍の影響は収まりつつある中で、景気動向も見据えて、本市を取り巻く社会・経済環境をどう捉え、予算案に結び付けたのか。「幸せ実感都市みしま」として、「めざせ、ウェルビーイング宣言」を実施し、日本一幸せに暮らせる都市を目指す積極型予算として編成された令和6年度予算について、以下、伺う。

1 基本目標1「安全・安心に暮らせるまち」に関して・・・防災、ごみ処理

- (1) 能登半島地震を踏まえ、伊豆半島玄関口の三島に災害時の後方支援拠点を置くべきでは。
- (2) 同報系防災行政無線デジタル化再整備を踏まえた、自主防災組織との連携
- (3) ごみ処理施設広域化に向けた取り組みについて

2 基本目標2「健康で福祉が充実したまち」に関して・・・高齢者福祉、子育て支援

- (1) 高齢者、子育て世代、障がい者を支える生活支援の仕組み「地域共生社会」の実現
- (2) 出産・子育て応援事業と長伏公園整備について

3 基本目標3「未来につなぐ人材を育むまち」に関して・・・教育

- (1) 時代が求める自国文化理解に基づくグローバル教育、多文化共生教育の必要性について

4 基本目標4「交流とにぎわいのあるまち」に関して・・・まちづくりビジョン、産業振興

- (1) 富士・箱根・伊豆の玄関口として交流人口増、インバウンド増にどう対応するか。
- (2) 中心市街地活性化に向けて、三島市が掲げるまちづくりビジョンについて
- (3) ふるさと納税強化、農水産品により磨きをかけて稼げるまちにしていく考えについて

5 基本目標5「快適で暮らしやすいまち」に関して・・・移住、三島駅周辺整備、空き家

- (1) 移住の受け皿を目指す地方都市としての積極的なプロモーションについて
- (2) 市民に寄り添った三島駅南口の再開発と広場開発（一般乗降、トイレ設置）について
- (3) 中郷、北上、錦田地区など郊外での空き家対策について

6 基本目標6「共に創る持続的に発展するまち」に関して・・・新庁舎、スマート市役所

- (1) 新庁舎計画に伴って発生する跡地の、まちづくりビジョンと連動した利活用について
- (2) 新庁舎の工事期間に何が想定されるか、地元建設事業者の参加可否について
- (3) 無駄の排除、DX、省力化の推進などスマート市役所に向けた取り組み

7 財政について

- (1) 基金積み立て、市債残高の推移について

代表質問発言通告書

発言順位	3番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 6年 2月 15日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 18 番 宮下 知朗

質問事項及び具体的内容
新型コロナウイルス感染症の社会的影響が薄まりつつある一方で、不安定な国際情勢や円安によるエネルギー価格・物価の高騰が社会経済活動に幅広く多大な影響を及ぼすなど、依然として我々を取り巻く環境は厳しく、先行き不透明な状況が続いています。
このような中でも、全ての市民の皆様が安全・安心に生活することのできる環境を基盤とし、将来に希望を持って暮らせるまち・日本一幸せに暮らせるまちの実現に向けまして、その歩みを止めることなく着実な前進を図るべく、令和6年度施政方針並びに予算案に対しまして、下記のとおり伺います。
1 持続的な発展を見据えた行財政経営について
(1) 自主財源比率の向上及び歳出・市債残高の削減に向けた取組について
(2) 新たなにぎわい・交流を創出するための取組について
2 激甚化・頻発化する自然災害への対応能力向上について
(1) 地域防災力の更なる強化を図るための「自助」、「共助」、「公助」の取組について
(2) 消防団員の確保及び活動環境の充実に向けた取組について
3 誰もが安全・安心に暮らすことのできる地域社会の構築について
(1) 断らない相談体制の強化及び支援体制の充実に向けた取組について
(2) 公共交通の維持及び利便性向上に向けた取組について
4 誰もがいつまでも元気に暮らすことのできる健幸都市の実現に向けて
(1) 運動機会の創出に向けた環境整備について
(2) 長伏公園の再整備に向けた方向性について
5 人口減少を緩やかに保つ若い世代を呼び込む政策の推進について
(1) 若い世代に選ばれる移住・定住を促すための取組について
(2) 安全・安心に出産・子育てのできる環境整備について
6 未来を担う子どもたちの健全育成について
(1) 教職員の多忙化解消に向けた取組について
(2) 特別な支援を必要とする子どもたちの学びを保障する教育環境の整備について

代表質問発言通告書

発言順位	4番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和6年 2月 15日

三島市議会議長 藤江 康議 様

三島市議会議員 4番 堀江 和雄

質問事項及び具体的内容

安心と活力ある社会へ向けて地域の個性を活かしながら、そしてデジタル化を利用しながら地域課題の解決、魅力向上を実現し地域活性化を進める構想の実現を目指す施政方針並びに日本一幸せに暮らせる都市を目指す積極型予算案について伺います。

1 安全・安心に暮らせるまち 日本一幸せに暮らせる都市を目指す積極型予算

(1) 日本一幸せに暮らせる都市を目指す 日本一幸せを実感できるメッセージについて

(2) 災害時にデジタル化も取り入れながら、情報デバインドが発生しない通信・広報の確実性・利便性をどのように高めていくのか。

(3) 循環型社会形成推進地域計画策定について。一般廃棄物処理の広域化について、3市2町が共同していく道筋について

2 健康で福祉が充実したまち

(1) スマートウエルネスみしまアクションプラン4期目の総仕上げの年となるが、「共創」という視点を加えた令和6年度の最終年に目指す姿について

(2) 新たに高齢者福祉政策室を設置され、いきがい推進事業や介護予防事業を推進するが、高齢で年を重ねても楽しみながら健康づくりができる取り組みについて

3 未来につなぐ人材を育むまち

(1) 小中学校の教育DX推進について。業務支援プラットフォームである教職員の校務業務に活用されている kintone 等の効果と今後の展開について

(2) 少年育成の推進について。仲間づくりを通して豊かな情操や健全な心身を養うなど、少年育成の推進について

4 交流とにぎわいのあるまち

(1) 伊豆ファン倶楽部推進事業・まちなかりノベーション戦略・みしまファンネット推進事業・観光振興事業は共通のキーワードがあり相乗効果の高い事業と考えるが、どのような戦略であるか。また、今後の事業効果検証の考え方について

(2) シティプロモーションとして水の都三島で子育てを題材としたイラストにちりばめられている、子育ての街みしまについて

5 快適で暮らしやすいまち

(1) 土地利用について。大場地域の開発は複数の課題があるが、地元の方が安心するためには、市が責任を持って都市的土地利用を成し遂げる姿勢が肝要であると感じる。見解を伺う。

(2) 三島駅南口再開発事業では、東街区再開発の完成後の取組が重要であると考えます。東街区のエリアマネジメントを地域や関係団体と進めると思うが、三島市とアスマチとの包括エリアマネジメントの取り組みの方向性について

6 共に創る持続的に発展するまち

(1) 市民サービス戦略として、窓口業務のデジタル化、キャッシュレス化の推進について

(2) 市制90周年に向けて新庁舎を考える事について。将来を担う子どもの人数変化・少子と高齢化は避けられず、人口もゆるやかな減少を踏まえての将来の三島のビジョンをどのように市民にお伝えしていくのか。

代表質問発言通告書

発言順位	5番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 6年 2月 15日

三島市議会議員 藤江 康儀 様

三島市議会議員 8番 石井 真人

質問事項及び具体的内容
令和6年度施政方針及び、過去最大となる450億7千万円となった「日本一幸せに暮らせる都市を目指す積極型予算」に対し、下記の通り伺う。
1 持続可能な財政運営について
(1) 大型事業（再開発、新庁舎、駅前ロータリー、長伏公園等）の整備による今後財政の歳入歳出予測、長期財政計画との整合性、財政の持続可能性及び南北自由通路の実現可能性は。
(2) 新たな財源として期待されるふるさと納税に関する来年度の戦略は。
2 基本目標1 安全・安心に暮らせるまち
(1) 能登半島地震を受けての本市の地震防災対策について見直すなどの改善点は。
3 基本目標2 健康で福祉が充実したまち
(1) こども家庭センター事業を新たに開始することで期待する効果は。
(2) 体育館の工事期間中に市民のスポーツ環境を維持継続するための取り組みは。
(3) 高齢者の外出支援のさらなる推進に向けた取り組みは。
4 基本目標3 未来につなぐ人材を育むまち
(1) 移住・子育て施策など、人口減少対策は示されているが、未来につなぐ人材を確保するための少子化対策は。
(2) 来日間もない外国人児童生徒が日本語や文化を学べる場にもなるため、不登校児童と外国人児童が共に学べる多文化共生の環境づくりができないか。
5 基本目標4 交流とにぎわいのあるまち
(1) 広域連携による観光戦略（インバウンド対策、伊豆ファン倶楽部の推進等）について
(2) 国のみどりの食糧システム戦略達成に向けて、有機農業の取得面積の割合を増加させることへの来年度の取り組みは。
(3) eスポーツをどのような形で活用し、関係人口創出を図ることを考えているか。
6 基本目標5 快適で暮らしやすいまち
(1) 駅前再開発事業の核となる広域健康交流拠点の医療施設の決定時期と、南田町広場に今後建設予定の新メディカルセンターとの医療連携をどのように考えるか。
(2) 大場地区の開発を推進するにあたって、地権者との合意形成をどのように進めていくのか。
(3) 介護分野や保育分野など地域公共交通以外の働き手不足をどのように解消していくのか。
7 基本目標6 共に創る持続的に発展するまち
(1) 市民・企業と協働によるウェルビーイングな三島の実現によって生み出される「日本一幸せに暮らせる都市」に相応しい未来の新庁舎とはどのようなものか。

代表質問発言通告書

発言順位	6番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和6年2月15日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 22番 弓場 重明

質問事項及び具体的内容

令和6年度予算、一般会計450億7千万円、特別会計297億3,576万円。合計748億576万円にも上る積極的な予算が上程された。そこで、下記の視点から各種事業と予算を伺う。

豊岡市長の3期目に第5次三島市総合計画が令和3年に策定されて4年目になる。この総合計画は、三島市における10年間の道しるべとなる計画であり、当然この第5次三島市総合計画実施計画(令和5年度～7年度)の基本目標に基づいて、事業を推進していると考えます。

そこで、下記の基本目標の項目に沿って、実施計画年度内である令和6年度の予算にどの様に反映されているのか大局的な見地から伺う。

1 【重点プロジェクト】について

(1) 重点プロジェクトの3つの力(保つ力・稼ぐ力・支える力)目指すところと取り組みを伺う。

2 【基本目標1 安全・安心に暮らせるまち】について

(1) ゴミの適正処理の推進の目指すところとこれまでの取り組みを伺う。
(2) 快適な生活環境の監視と指導(犬や猫の～は除く)の目指すところと取り組みを伺う。

3 【基本目標2 健康で福祉が充実したまち】について

(1) 生活保護制度の適正な運用の目指すところとこれまでの取り組みを伺う。
(2) 高齢者の生きがいづくりの推進の目指すところとこれまでの取り組みを伺う。

4 【基本目標3 未来につなぐ人材を育むまち】について

(1) 多様性を尊重し、自分らしく生きられる街づくりの目指すところと取り組みを伺う。
(2) 多文化共生社会の推進の目指すところと取り組みを伺う。

5 【基本目標4 交流とにぎわいのあるまち】について

(1) 観光ネットワークづくりの目指すところと取り組みを伺う。
(2) 商業・商店街の賑わいについての目指すところと取り組みを伺う。

6 【基本目標5 快適で暮らしやすいまち】について

(1) 空き家等の適正管理や有効活用の目指すところと取り組みを伺う。
(2) 公共交通の維持・向上と利用促進の目指すところと取り組みを伺う。
(3) 三島駅南口等の都市機能の更新・集積の目指すところと取り組みを伺う。

7 【基本目標6 共に創る持続的に発展するまち】について

(1) 新庁舎建設・基金の積み立ての現状と展望を伺う。
(2) 財政運営・市債残高・一般財源の高騰化の現状と展望を伺う。

